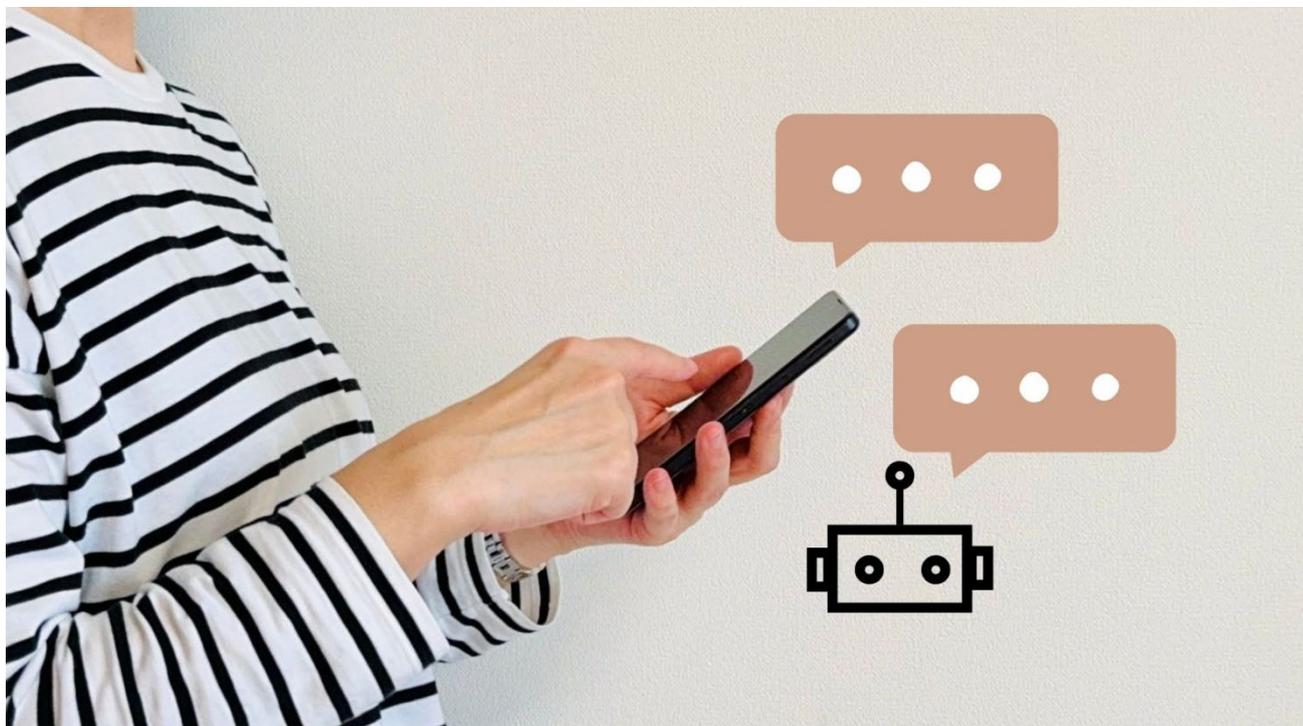


## — 住宅検討はAIに相談する時代？ — それでも変わらない家づくりの本質は“人との対話”

「いい家を、より安く」をモットーに住宅の設計・施工を手掛けるグッドリビング株式会社（本社：静岡県浜松市中央区佐鳴台1丁目8-8、代表取締役社長：永野武）は、「よい家を、より安く」を企業コンセプトに、誰もが手の届く価格で“理想のマイホーム”を実現できる家づくりを続けています。

近年、生成AIの普及により、住宅検討の方法も大きく変化しつつあります。

「おすすめの間取りを教えて」「住宅ローンの比較をしたい」「子育てしやすい家の条件は？」こうした質問を、インターネット検索だけでなく、AIに相談する方も増えています。家づくりの初期段階において、AIは“気軽に相談できる存在”として広がりを見せています。



### ■AI利用のメリット

AIの最大のメリットは、膨大な情報を瞬時に整理し、比較・提案してくれる点にあります。間取りのアイデア出しや、住宅ローンの基礎知識の理解、設備仕様の比較など、「まずは全体像を知りたい」という段階では非常に有効なツールです。

忙しい共働き世帯や子育て世帯にとって、短時間で多くの選択肢を把握できる点は、大きな助けになるでしょう。

私たち自身も、AIは便利なツールだと感じています。正しく使えば、家づくりのスタートを後押ししてくれる存在です。

## ■AI だけでは決められないこと

一方で、住宅は一つとして同じ条件がありません。

土地の形状、周辺環境、法規制、資金計画、  
そして何より、そのご家族の暮らし方や価値観。

「休日はどう過ごしたいのか」

「子どもが成長したらどう変わるのか」

「老後まで見据えて、どこまで考えるのか」

こうした問いに対する答えは、単なる情報の組み合わせだけでは導き出せません。

AI は可能性を示してくれますが、その選択が本当にその家族に合っているのかを判断するには、対話と経験に基づく専門的な視点が欠かせません。

■「グッドリビング」の役割は、情報を“整える”こと  
情報が多い時代は、便利であると同時に、不安も増えます。

「結局どれが正解なのか分からない」

「調べれば調べるほど迷ってしまう」

そんな声を、実際に多く耳にします。

グッドリビングが考えるこれからの家づくりは、最新の情報を並べるのではなく、お客様にとって本当に必要なものを整理し、納得できる形に整えることだと考えています。

“AI か、人か”という二択ではありません。

AI という新しい道具を否定するのではなく、うまく活用しながらも、最後は人と人との対話で住まいを形にしていく。

それが、これからの住宅会社の姿ではないでしょうか。

情報を整理し、不安を解消し、複雑になりがちな選択を分かりやすくすることが、  
私たち住宅会社の役割であると考えています。



## ■「よい家を、より安く」との接続

創業以来、グッドリビングは「よい家を、より安く」という理念を掲げ、性能と価格のバランスを追求してきました。

情報があふれる AI 時代だからこそ、  
本当に必要な性能は何か、無理のない予算とは何かを、  
丁寧に整理し、納得できる形でお伝えすることが重要だと考えています。

技術が進化しても、住まいづくりの本質は変わりません。  
AI はあくまで“道具”。家族の未来を考えるのは、人と人との対話です。

これからもグッドリビングは、  
時代の変化を受け止めながらも、住まいづくりの本質を大切にし、  
すべてのご家族にとって安心できる住まいを届けてまいります。



### 【会社概要】

社名 : グッドリビング株式会社  
ホームページ : <https://good-living.jp/>  
本社所在地 : 静岡県浜松市中央区佐鳴台 1 丁目 8-8  
設立 : 1988 年 2 月 17 日  
資本金 : 9,250 万円  
従業員数 : 86 名  
事業内容 : 住宅の設計・施工

### 【本件に関するお問合せ】

広報課 係長 岡 拓哉 (おか たくや)  
TEL : 053-445-2000 メール : oka@good-living.jp